

合併により議会費は、1億2,700万円減



▲議会のようす

合併により議会費はどうなったか。

3町の合併により、議員定数が48人から28人と20人の減となった。また、議会事務局職員数も10人から5人になった。これにより、報酬、共済費などを合せて、1億2,700万円の減額である。

どう変わる地域づくり

地域活動への支援

自主性などを尊重



▲竹炭づくり（終野区公民館）

地域活動支援事業の内容はどのようなものか。区公民館が中心となっており、特色ある地域づくりを進めるため、計画の作成と計画に基づく地域活性化のための人づくりやソフト事業に対して補助を行うもので、総額100万円を計上している。

チェック機能としては、地域の5か年計画に基づき、事業内容、事業経費等のチェックを行う。宮之城地区の区公民館については、事業費の80%（限度額56万円）、鶴田・薩摩地区の区公民館については、事業費の100%（限度額50万円）の補助を行う。

新規就農者・

認定農業者

支援対策は

支援チームにより指導

新規就農者の育成と支援及び認定農業者に対する指導体制はどうか。

町農林技術協会、町農業改善支援センターなどで支援チームをつくり、生産技術の支援、指導を行っている。



さつま町認定農業者協議会

町税等の収納率向上対策

差押・公売等を実施

収納率向上の取り組みはどうか。

滞納整理指導官等を設置し、様々なケースに応じた収納対策を行い、昨年から差押を重点的に行っている。



▲滞納整理指導官による職員研修